

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表							
記入年月日	平成19年3月26日		記入者	武井		連絡先	8572
平成18年度部名	教育総務部		課名	学校保健課（清新学校給食センター）		課長名	野田主税
平成19年度部名	教育環境部		課名	学校保健課（清新学校給食センター）		課長名	野田主税
事務事業名	施設維持補修事業						
予算上の事務事業名	施設維持補修費						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120			
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして						
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します						
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造						
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実						
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等							
学校給食法、相模原市学校給食センター条例							
3 個別計画の概要				概要			
計画名							
計画年次		年度～		年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	昭和63年以前		
6 事業概要							
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）		
日々の給食運営に支障をきたさないよう、給食用調理機器や廃水処理施設、ボイラー施設等諸施設の修繕を行う。					給食受入校の児童、教職員		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。							
<ul style="list-style-type: none"> ・給食用機械器具等修繕 1,200,000 円 ・庁舎施設修繕 1,818,000 円 ・廃水処理施設修繕 757,000 円 							
7 関連事業・類似事業又は他市の状況							
8 事業費の推移 〔単位：千円〕							
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業費	13,308	2,646	3,775	4,560	3,420		
一般財源	13,308	2,646	3,775	4,560	3,420		
受益者負担金	0	0	0	0	0		
その他の特定財源	0	0	0	0	0		
人件費の合計	1,614	1,610	1,610	1,610	1,610		
事業コスト合計	14,922	4,256	5,385	6,170	5,030		
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率							
事業名 (主たる事業名)	給食用機械器具修繕事業			対象名称 と単位	給食受入校児童・教員 数(人)		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業コスト(主たる事業)	3,049	1,078	1,200	1,700	1,700		
対 象 数	4,503	3,465	3,635	2,525	3,125		
単位あたり経費(円)	677	311	330	673	544		
前 年 度 比		0.46	1.06	2.04	0.81		
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの							

指標名と単位	給食用機械稼働日数	指標式と指標の説明	給食用機械の必要稼働日数（日）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	184.0	184.0	184.0		
目標	184.0	184.0	184.0	184.0	184.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	稼働率（%）	指標式と指標の説明	稼働日数÷必要稼働日数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		給食業務に支障を与えることなく安全かつ適正に運営できている。今後も現状を維持しながら事業を継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
給食運営を安全に行うため、今後とも定期的に機械機器等の保守点検を行う必要がある。			給食運営を安全に行うため、給食用機械機器等の更新を行う必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			